

「5W1H」意識して記事を

鯖江高1年生に出前授業



ワークショップに挑戦する1年生たち＝鯖江市の鯖江高

本社デスクが書き方指南



鯖江高の1年生約220人に対する福井新聞のNIE

E(教育に新聞を)出前授業がこのほど、同校で開かれた。オリジナルの新聞作りを目指し、文章の書き方やインタビューの方法を現役のデスクから学んだ。

総合的な探究の時間を活用。生徒は今後、一人一人が自分の興味のある職業を調べ、オリジナルの新聞を作成する。

講師の福井新聞NIE担当者らは、信頼度が高い新聞記事の特性を説明し、インタビューのやり方などを説明した。ワークショップでは「昨日の夕食」をテーマとし、高校生が取材と記事執筆に取り組んだ。

「5W1H」(いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように)を意識しながら、隣の生徒に夕食のメニューなどを質問し、メモに要点を書き取る取材を試みた。

長優里さんは「新聞記事の書き方を学びました。5W1Hを意識して、相手に伝わるように書きたい」と話していた。(藪内弘直)